



第27回 EMC関西2022

『EVバッテリー高電圧化に伴う課題と新規試験法』

昨今、温暖化対策として脱炭素(カーボンニュートラル)へのシフトが叫ばれ、自動車業界においても電動化の動きが加速しております。現在、電気自動車の給電は200~400Vが主流ですが、急速充電に対応すべく欧・米・中では800V以上への高電圧化の動きがあります。高電圧給電による電磁ノイズの課題やそれをどのように評価するか、という試験法への関心も高まっております。このような観点で、今年のEMC関西2022では『EVバッテリー高電圧化に伴う課題と新規試験法』を主題に、各分野の第一線でご活躍の方々を講師にお迎えしご講演いただきます。ご参加いただいた皆様の技術スキル向上にお役立ていただければ幸いです。

日時	2022年10月21日[金] 10:30~17:00	開催場所	グランフロント大阪北館タワーC8階 ナレッジキャピタルカンファレンスルーム タワーC Room C03+C04 ハイブリッド形式(会場とZoomオンライン併用)
主催	一般社団法人 KEC関西電子工業振興センター	参加費	会員 : 9,000円 ※iNARTE、EMC-DE 有資格者には割引あり (詳細は裏面) 非会員 : 12,000円 (消費税込)

プログラム

10:30	開会の挨拶	一般社団法人KEC関西電子工業振興センター	専務理事 柳川 良文
10:35 ~ 11:30	【基調講演】 電動車の導入促進に向けた充電インフラの拡充について	経済産業省 製造産業局 自動車課 戦略企画室	課長補佐 山同 康太 氏
	グリーン成長戦略に基づく自動車部門のカーボンニュートラルに関する最近の政策動向について。特に、電動車の導入促進や充電インフラの整備に向けた政策動向を中心にご紹介する。		
11:35 ~ 12:30	パワーエレクトロニクスにおけるEMIとその対策	東京都立大学	特任教授 清水 敏久 氏
	自動車の電動化が加速する中で、パワーエレクトロニクス装置に起因するEMIにより車載機器等への電磁障害が顕在化している。本講演では、パワーエレクトロニクス装置から発生する代表的な伝導性EMI発生メカニズムの例を紹介するとともに、自動車で使用されるCAN通信障害とその防止法に関する基礎的な研究事例を紹介する。		
----- 昼食休憩 (70分) -----			
13:40 ~ 14:35	IEC61000-4シリーズ 連続波妨害イミュニティ規格の最新動向	株式会社東陽テクニカ ワン・テクノロジー・カンパニー EMCビジネスユニット	シニアエキスパート 中村 哲也 氏
	IECでは、無線周波に対する電子機器のイミュニティ試験(連続波妨害イミュニティ試験)規格が、IEC 61000-4シリーズの中で規定されている。本講演では、これらのうち、昨年新版が発行されたIEC61000-4-3、次版のため審議中のIEC61000-4-6、5Gにも関連する新しい規格IEC61000-4-41など、現在動きのある連続波妨害イミュニティ規格を中心に、その概要と最新動向を紹介する。		
14:40 ~ 15:35	【KEC委員会活動報告】 パワエレ機器のEMI(エミッション)へ測定設備が及ぼす影響	一般社団法人KEC関西電子工業振興センター EMC専門委員会 パワーエレクトロニクスEMC規格対応WG	藤田 浩志 氏
	パワエレ機器は一般機器と比較し電力が大きく、複数の電源線が接続される。このため、EMC評価結果に測定設備が意図しない影響を及ぼす場合がある。本講演では、専門委員会活動での検証結果をもとに、パワエレ機器のEMI測定における問題点と対処法について述べる。		
----- 休憩 (20分) -----			
15:55 ~ 16:50	【KEC委員会活動報告】 リバブレーションチャンバ法の分析および、放射イミュニティ評価法との比較	一般社団法人KEC関西電子工業振興センター EMC専門委員会 車載機器計測精度分析WG	鵜生 高德 氏
	KECの車載機器計測精度分析WG(略称車載WG)は、車載EMC評価時の試験所間相関(ILC)や、試験法の分析を行っており、近年関心の高いISO11452-11(リバブレーションチャンバ法)も分析している。本講演では、異なる試験所でチャンバーサイズやチューナー(羽根)が異なっても同じ試験結果は得られるのか?またISO11452-2(ALSE法)との大きな違いはどこかなどについて説明する。		
16:50	閉会の挨拶	一般社団法人KEC関西電子工業振興センター 専門委員会推進部	部長 岸本 隆

※プログラムは、事情により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

後援	近畿経済産業局 京都府 大阪府
協賛	株式会社島津製作所 パナソニックホールディングス株式会社 ホシデン株式会社 株式会社村田製作所

お申込み要領

定員

【会場参加】先着 **50**名 【Zoomオンライン参加】先着 **100**名

申込締切

2022年9月29日[木] (定員になり次第募集を締め切ります)

参加費 (消費税込)

KEC会員 **9,000**円
非会員 **12,000**円
INARTE(EMC, PS) 並びに EMC設計技術者(EMC-DE)の有資格者は参加費が 会員 7,000円/非会員 10,000円になります

申込方法

KECウェブサイトの案内ページの“お申込みフォーム”からお申込みください。
会場参加申込みフォーム、オンライン参加申込みフォームは入口が異なります。お間違えにならないようお申込みください。
お申込み完了後、ご登録メールアドレスに自動返信メールが送信されます。お申込み内容をご確認ください。
ご入力いただいたメールアドレスに誤りがあると自動返信メールが届きません。
届かない場合はお問い合わせまでご連絡ください。

送金方法

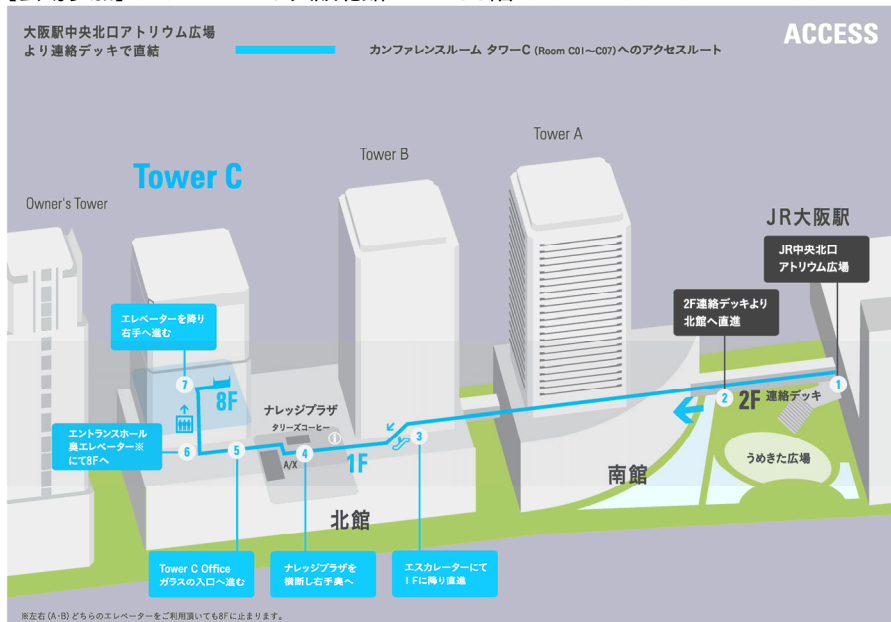
申込締切後、請求書を送付いたします。請求書記載の指定銀行口座に参加費をお振込みください。
振込手数料はお客様ご負担でお願いいたします。

テキスト

本セミナーのテキストはPDFにて配付します。テキストダウンロード専用ページのURLをメールにてご連絡いたします。
製本テキストの配付はございません。
会場参加者は必要に応じてテキストを印刷し、各自ご持参ください。

参加方法

【会場参加】 グランフロント大阪北館タワーC8階 ナレッジキャピタルカンファレンスルーム タワーC Room C03+C04



JR大阪駅(中央北口)アトリウム広場から北へ徒歩約10分

【オンライン参加】 Zoomウェビナー (開講日の前日までに、聴講用URLが記載された案内メールを送信いたします。)

問合せ先

一般社団法人KEC関西電子工業振興センター 専門委員会推進部 事務局 石住 隆司
〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台3丁目2番地2
TEL: 0774-29-9041/FAX: 0774-93-4564/E-mail: publication01@kec.jp

開催にあたっての注意事項

【共通】

- ※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響及び感染防止の観点から、やむを得ず講演内容や配信方法、開催方法を急きょ変更、あるいは、中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ※ セミナー・講座の記録行為(録音・録画・撮影)、講演内容の転用、参加者の情報共有、(加えて、オンライン参加のみ:記録行為(スクリーンショット)、聴講用URLの無断共有、チャットでの誹謗中傷)は固く禁止いたします。誓約いただける方のみご参加いただけます。
- ※ 参加申込みのお客様以外のご参加はお断りいたします。
- ※ お客様のご都合によるキャンセルは原則としてお受けしておりません。

【会場参加】

- ※ ご来場の際は、マスクの着用をお願いいたします。ワクチン接種を終了された方もマスクの着用をお願いいたします。
- ※ 会場内での講演を直接、あるいはプロジェクタースクリーンにてご聴講いただきますので、Zoomウェビナーへの接続は行いません。
- ※ ノートパソコン用電源のご提供は行いません。また、会場で提供されるパブリックWi-Fi接続を経由してのパソコン利用はご遠慮願います。
- ※ 会場内への飲食の持ち込みはご遠慮願います。
- ※ 職員は体調管理を行い、マスク着用のうえ対応させていただきます。

【オンライン参加】

- ※ 聴講には、パソコン等の情報端末とインターネット環境が必要です。インターネットの回線速度及びパソコンの動作検証についてはお客様にてお願いいたします。お申込み前に、当日使用する端末と場所で <https://zoom.us/test> にアクセスし動作確認テストを行ってください。回線やパソコンの不具合により、万一聴講ができない場合、後日の再開催やオンデマンド配信等の対応はしていません。
- ※ Zoomアプリでの聴講を推奨いたします。Zoomアプリは最新版をお使いください。Zoomアプリが利用できない場合は、ウェブブラウザからでも聴講が可能です。ただし、複数端末での聴講は認めておりません。

お申込みはこちら

<https://www.kec.jp/seminar/emck22/>